

平成29年3月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者
1	16	寺口友彦
2	3	広田公夫
3	12	鈴木一
4	13	塩谷寿雄
5	18	岡村雅夫
6	23	阿部久夫
7	8	中沢一博
8	6	佐藤剛
9	2	中沢道夫
10	5	塩川裕紀
11	24	関常幸
12	10	桑原圭美
13	7	田村眞一
14	17	中沢俊一
15	20	腰越晃
16	25	若井達男
17	15	小澤実
18	1	田中せつ子
19	9	勝又貞夫
計		19名

【質問方式】（いずれも質問制限時間（答弁時間を含まない。）は 30 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質問 内 容
1	1 保健・医療・福祉について
議席	生活困窮者自立支援の子どもの学習支援には、子育て支援課、福祉課、学校教育課、子ども若者育成支援センターの横断的な総がかりで臨むべきである。
16	
寺 口 友 彦 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	2 教育・文化について
	新設される生涯スポーツ課と南魚沼市文化スポーツ振興公社のスポーツパラダイスとの整合性をどう考えているのか。
	3 環境共生について
	環境行政に携わる環境課、廃棄物対策課、下水道課を1か所にまとめて、南魚沼市環境基本計画の効率的な実施を目指すべきではないか。
	4 産業振興について
(1) 今泉記念館とふれあい支援センターの指定管理者を交換して、中心市街地の観光交流活性化と定年退職者の労働力有効活用を目指すべきではないか。	
(2) 商工観光課を商工課と観光交流課に二分して、庁舎北分館3階に事務所を据えるべきではないか。	
5 行財政改革・市民参画について	
地域再生推進法人を作り、地方創生推進室の事務をすべて委託するのは丸投げであり、市民参画から遠のくのではないか。	

質問 順位	質問 内 容
2	1 市職員の意識の向上を（職員の意識改革）
議席	
3	
広 田 公 夫 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>(1) 市長は、市職員は支払われる給料に見合う、またはそれ以上の働きをすると示された。職員には、その市長の考えを具体的に示したのか。</p> <p>(2) 議員の報酬、特別職の給与の引き上げは、現状の財政状況では認められないと考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 勤務成績評定の公開と給料の昇給額への反映について ①市長は、人事評価の結果公表は給料表の級別部別の公表を検討すると示した。大阪市等の事例は検討したか。公表時期はいつか。 ②市長は、人事評価給の給与、分限の人事管理に活用すると示した。これまでの反映状況と、今後の反映方法に変更があるのか伺う。</p>
	<p>2 効率と正確性の確保のために、議事録検索システム導入を再検討する考えはあるか</p> <p>(1) 全国と新潟県内の議会導入実績を、確認しているのか。</p> <p>(2) 議事録検索システムに議会資料、委員会資料、更に各種の会議資料に、拡大すれば効果大になる。その為に議会議事録からの導入が必要。電算室に、費用対効果についての意見は確認しているか。</p>
	<p>3 小学校・中学校のタブレット教育について</p> <p>(1) 新潟県内での小学校・中学校のタブレットの普及率はどのくらいで、南魚沼市の普及率は上位なのか。</p> <p>(2) タブレットの自宅持ち帰りは、技術的に可能か。セキュリティ対策、運用面での問題点は何か。</p> <p>(3) 現状では予算的に、全児童生徒にタブレット貸与は無理だが、早期実現に向けて、持ち帰り運用を試行する考えは有るか。試行するとして時期はいつ頃か。</p>

質問 順位	質問 内 容
3	1 移住・定住促進を妨げるものについて
議席	(1) 大雪のたびに運休する電車について
1 2	(2) 大雪のたびにマスコミ、マスメディアによる雪国は住みにく いと感じさせる報道について
鈴木 木 一 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	2 生活雑排水(産廃)の処理について 六日町浄化センターでは雑排水(産廃)の処理ができなくなり、 民間業者で処理することになる。価格の高騰が心配されるが、ど う考えているのか伺う。 3 指定管理について (1) 1つの例として「文化スポーツ振興公社」への委託と直営とを 比較した場合、どの程度安くなっているのか。 (2) 指定管理の公募では、理念どおり数社の応募があるのか。 (3) 市民会館、ディスポートなどは単独での指定管理か。

質問 順位	質問 内 容
5	施政方針について
議席	
18	<p>市長になって初めての予算編成ご苦労様でした。公約を掲げ当選され、満足のいく編成になったか所見を伺う。合併特例措置も終わり財政健全化指標の改善は厳しく、財源確保が難しい現状と述べている。市民の暮らしはさらに厳しい。まさに暮らし応援の予算が組まれたかである。</p>
岡 村 雅 夫 (一 問 一 答 方 式)	<p>(1) 大和病院の 15 床を地域包括ケア病床とした。療養病床 38 床の復帰が必要と思うが所見を伺う。</p> <p>(2) 新ごみ処理施設の建設候補地を全て不适当とした。行政主導で選考すると言うが、今後の手法を伺う。用地選定に傾注した一年、基本計画策定の遅れが心配だ。平成 33 年度から普通交付税一本算定となる。総事業費を想定し、財政計画を持って慎重に進めるべきと考えるが進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 林業の振興で循環型社会の構築を目指しているが、ペレットストーブ補助金の継続など、従来どおりの域を脱していない。補助事業を活用して魚沼産木質ペレットの製造が行われていたが、製造中止の話聞く。平成 21 年の「バイオマスタウン構想」を練り直し、公約の「里山再生」の道付けを示し、循環型社会の構築へ踏み出すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(4) CCRC を「南魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基軸事業とすると宣言している。当初、市の役割はインフラ整備等で、企業が開発するから財政負担はわずかといわれていた。基軸事業と企業パートナーのリスク負担の提案は、市主導の施策に姿を変えようとしている。未定（不确实）の移住者のための事業展開は企業に任せ、圧倒的多数の 5 万 8,000 人市民のための市政を構築していくべきと思うが所見を伺う。</p>

質問 順位	質問内容
6	<p>1 雇用促進について（有効求人倍率）</p>
議席	
23	
阿 部 久 夫	<p>市長が、掲げた公約の大きな柱として「若者が帰ってこられる、住み続けられる故郷」に熱意を持って取り組んでいることを心強く思っているところである。</p> <p>人口減少対策として、CCRC構想やグローバルIT構想に力を入れ、定住促進や雇用創出を目指すとしているが、市長として力量が問われるところである。</p> <p>市の有効求人倍率は、県内1位であり、2.61倍と高いが、就職先があってもマッチングしないと考えられる。</p> <p>このままの状態が続けば、活力が失われ、市長が掲げる「若者が帰ってこられる、住み続けられる故郷」が、一段とかけ離れて行くと思う。</p> <p>なんといっても地元で生まれた方が地元で生活出来る事が1番だと思う。</p> <p>若者の雇用問題だけでなく、女性や中高年者の雇用問題をどのように考えているか伺う。</p> <p>(1) 有効求人倍率をどのように捉えているか。また対策は。 (2) 行政、企業、学校関係との連携は。 (3) 「U&Iときめき課」と「産業振興部」との結びつきは。</p>
（一問一答方式）	<p>2 小学校でのスキー授業の拡大を</p> <p>南魚沼市は、市民が生涯にわたって健康で文化的な生活を送ることを目指して、平成27年10月に南魚沼市スポーツ健康都市宣言を行った。また先の市長施政方針では、地域の自然環境や特性を生かした生涯スポーツ課を教育委員会に設置するなどの内容があり、大いに評価するところである。</p> <p>南魚沼市も冬季には学校教育として、クロスカントリーやアルペンスキーの授業に取り組んでいる。これは、スキーの向上だけでなく、体力の維持や増進を図ってのことだと思う。</p> <p>その中で、アルペンスキーでは、各学校で違いがあるが、大体年1回である。スキー場に恵まれた当市において、年1回では残念な気がする。</p> <p>地域の特色として、枠を広げる必要があると思うが見解を伺う。</p>

質問 順位	質問内容
7	「未来への投資」へ具体的推進について
議席	愛する南魚沼市へ。
8	子や孫が「希望ゆきわたる未来」へどう投資し、ずっと「住み続けられるふるさと・南魚沼市」にどう取組支援していくか、市長に問う。
中 沢 一 博 (一問一答方式)	<p>(1) 「データヘルス」の取組支援とビッグデータを活用した健康寿命と医療費削減について</p> <p>(2) 介護士・保育士の処遇改善の実態と人材確保について (市独自の認定ヘルパー資格養成の推進・南魚沼地域内での保育士養成講座の開催を含む。)</p> <p>(3) 給付型奨学金の創設に伴う、当市の実態と取組について</p> <p>(4) 幼児教育の無償化推進について</p>

質問 順位	質問内容
9	<p>1 水道料金の引き下げについて</p>
議席	<p>(1) 市長の所信は矛盾していると思うが、真意を問う。</p>
2	
中 沢 道 夫 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>(2) 水道会計の財政状況からすれば、引き下げは難しい事は理解できるが、その事も理解した上で、市長選に臨んだのではないか。</p>
	<p>(3) 国の言いなりを続けていては、抜本的な引き下げは出来ない。国の政策を変える覚悟はあるか。</p>
	<p>2 国の減反政策の終了に対する対応について</p>
	<p>(1) 平成30年から国は減反政策を廃止するが、これは農政の大転換であり、農家にとっては経験のない事態であり、市はどう対応していくつもりか伺いたい。</p>
<p>(2) ここ数年で農地の集積が進み、大規模経営体が増えたが、米価の下落は経営危機に直結する。その点も踏まえた対応はどう考えるか。</p>	
<p>(3) 来年からの話であり、早く方向性を示さないと混乱を招くのではないか。</p>	
<p>3 中小企業者等振興基本条例の活用について</p>	
<p>条例の制定を歓迎するが、どう運用していくかが肝心である。「審議会(推進委員会)」などを作って検証していくつもりはないか。</p>	

質問 順位	質問 内 容
13	<p>1 子ども医療費助成の対象を高校卒業まで拡充を</p>
議席	
7	<p>湯沢町では18歳以下までの子ども医療費が全額無料である。魚沼市では対象年齢を高校卒業まで広げるとする新年度予算が上程された。</p>
田 村 眞 一 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>市長は昨年12月議会で「私の公約として対象年齢の引き上げを検討していく」と答えた。しかし、当市の来年度予算には反映されていない。子ども医療費助成の対象を高校卒業まで拡充するべきではないか。</p>
	<p>2 市民の願いにかなった「新総合事業」について</p>
	<p>この4月から「新総合事業」が始まる。市民の願いにかなった「新総合事業」とするために、以下市長の見解を伺う。</p>
	<p>(1) 「新総合事業」で行う事業内容、事業を担う事業所および従事する人員の確保がどの程度行なわれているか。必要とする人にサービスが保障されているか。</p> <p>(2) サービスの質を落とさないよう、「現行相当」のサービスを維持してほしい。無資格者やボランティアなどによる「多様なサービス」への置き換えをしないようにするべきだが。</p> <p>(3) 緩和した基準によるサービスの報酬は、現行より低い基準となる。事業所収入が減少することのないよう、財政支援を検討すべきだが。</p>
<p>3 南魚沼版冬期集落保安要員制度の創設を</p>	
<p>この制度の目的は冬期間、豪雪のため孤立する集落に「保安員」をおき、地域住民の安全と生活環境の維持向上を図る事である。</p>	
<p>南魚沼市でも5集落で10人が配置された。その後、機械除雪の普及等により現在は十日町市など一部の地域で配置され活動している。</p>	
<p>少子高齢化が進む中で、高齢者の方々が冬場安心して暮らせるよう、集落機能を維持するため冬期集落保安要員制度の創設するべきではないか。</p>	

質問 順位	質問内容
15	1 中小企業者等振興基本条例の制定と今後の展開について
議席	
20	
腰 越 晃	<p>地元で生まれる企業を支援し、その発展を促進することは地域振興の基本である。市長が掲げる「若者が帰ってこれるまちづくり」の基本となるものと期待する。</p> <p>条例制定を歓迎し、(条例第8条から)今後の具体的な施策及び事業展開への考えを伺う。</p> <p>2 生涯学習環境の充実について</p> <p>強靱な市民社会の形成へ向けて、どの世代も学ぶことのできる生涯学習の充実は、喫緊の課題である。</p> <p>後期教育基本計画に示された「学びの郷南魚沼プラン」の実現に向けた考えと今後の進め方について伺う。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問内容
16	<p style="text-align: center;">新ごみ処理施設建設問題を問う</p>
議席	
25	
<p>若 井 達 男</p> <p>（一問一答方式）</p>	

質問 順位	質問 内 容
18	1 子育て支援の充実について
議席	
1	市内では高校の学級減、中学の統合、今後は小学校の統廃合も検討される。少子化問題には、更なる子育て支援が必要と考えるが、市長の考えを伺う。
田 中 せ つ 子	<p>(1) 全天候型遊びの広場整備事業は、平成29年～31年の予算が6,900万円だが、平成29年は予算が無い。既存施設の有効利用とあるが、今後の見通しを問う。</p> <p>(2) 共働き核家族が増える中、男性の育児参画は重要と考える。ほのぼのの広場の利用状況は、男性の利用が極端に少ない。利用しやすくするための具体的な対策を問う。</p> <p>(3) 子育て世帯が定住するためには、住宅取得支援が有効と考えるが、市内業者を利用する事を条件に、新築取得・建替えに支援できないか。</p>
(一問一答方式)	<p>2 地域防災力強化について</p> <p>糸魚川大火の教訓を活かしたり、近況に応じた防災対策は充分か。</p> <p>(1) オスプレイの広域訓練では、南魚沼地域でも夜間飛行が計画されているようだが、市民への情報提供や注意喚起は必要ないか、備える考えはあるか。</p> <p>(2) 柏崎刈羽原発では、免震重要棟の耐震性不足、不適切ケーブル敷設、会議室火災、低レベル廃棄物輸送中止等トラブル続きだが、原子力災害対策は充分か。</p> <p>(3) 地域防災計画では、男女のニーズの違い等に配慮した避難所運営とあるが、実際には誰がどのようにその役割を担うのか。</p> <p>(4) 女性消防団員には、どのような役割を期待し、今後の位置づけを考えているか。</p> <p>(5) 防災・消防関連の次年度予算は、当初予算より減額が目立つが、消防団運営や自主防災力維持と強化は図られるのか。</p>

